

第 4 3 号様式（第 1 9 条関係）

バルク容器による供給設備の技術上の基準に関する説明書

（貯蔵能力が 5 0 0 k g を超え、3 0 0 0 k g 未満のもの）

項 目		条 項 規則19条		対 応 事 項				
バルク 容 器	液 取 入 バ ル ブ	19条 1号	イ	☐ カップリング用液流出防止装置の取り付けた液取入バルブ				
	ガ ス 取 出 バ ル ブ		ロ	☐ ガス放出防止器又は緊急遮断弁の取り付けたガス取出バルブ ☐ 管の損傷防止措置				
	液 取 出 バ ル ブ		ハ	☐ ガス放出防止器又は緊急遮断弁の取り付け ☐ 集合管等に接続しない				
	均 圧 バ ル ブ		ニ	☐ カップリング付き				
	液 面 計		ホ	☐ 液面計の設置				
	過充てん防止装置		ヘ	☐ 過充てん防止装置				
	附属機器の保護		ト	☐ ふた付きプロテクターでの保護				
	ガ ス 名 等 の 表 示		チ	☐ L P ガスの旨及び火気厳禁の朱書き				
	緊急連絡先の表示		リ	☐ 緊急連絡先（ ）				
	腐しょく防止措置		ヌ	☐ 腐しょく防止措置				
	転倒転落防止措置		ル	☐ スカート又はサドル等を基礎に設置				
	基 礎		ヲ	☐ 水平かつ地盤面から5cm以上				
	車両の接触防止措置		ワ	☐ 自動車等車両が接触しない措置				
	安全弁の放出管		カ	☐ 安全弁の放出管の設置				
	1 t 未満の み		火 気		ヨ	☐ 火気との距離 m（法定：2m超） ☐ 屋外設置 隔壁 ☐ 無 ☐ 有 ※ 図面添付		
容 器 の 温 度 管 理		タ	☐ 常に40℃以下に保つ措置					
バルク 容 器 (1 t 以上 3 t 未 満 の み 記 入)	保 安 距 離	19条 2号	イ		法 定	実 際	緩和の必要性	
	保 安 距 離 緩 和			第1種	16.97 m	m	有 無	
				第2種	11.31 m	m		
	火 気		ロ	障 壁 ☐ コンクリートブロック ☐ 鉄筋コンクリート ☐ その他（ ） ※ 図面添付				
				☐ 火気との距離 m（法定：5 m以上） ☐ 漏えいしたガスの流動防止 ※ 図面添付				
				ハ	材料（ ） ※図面添付			
				ニ	消火器（A－ ， B－ ） 本			
基 準 適 合	ホ	☐ 19条1号イからカまでの基準に適合しているか ※上記（19条1号）に記入						

バルク 容 器	漏 え い	19条4号	☐ バルク容器は、漏えいがないものであること。
	監 視 シ ス テ ム	19条5号	☐ ガス漏れ検知器を設け、漏えい情報等を常時監視するシステムと接続すること。
	滞留しにくい構造	19条6号	☐ バルク容器と調整器の間で液状の液化石油ガスが滞留しにくい措置を講ずること。

バルク
